

Greetings from Surrey Satellite Technology

署名から見ると、少なくとも2人の中国人、1人の日本人が活動しているようで。



merry christmas
&
a happy new year

from



Jeff Ward *M Jay* *Slaker*
man *Wei Sun* *Martin Lunt*

Back cover image taken by UK-DMC, UK (May 2004)

Season's Greetings from all at SSTL & BBC

医療機器の小型・軽量化が進む軍事医療

<http://hotwired.goo.ne.jp/news/news/20041221301.html>

アフガニスタンとイラクにおける軍事活動で負傷した米兵死亡率は、かつての戦争と比べ劇的に低下しているとされる。この背景にあるのが、辞書サイズ超音波診断装置や携帯型血液検査

機といった、小型・軽量化医療機器だ。現在では、手術室を備えた移動式ミニ病院を1時間以内に設営できるという。

ブロードバンド：日本、普及率で上位10カ国から脱落

<http://hotwired.goo.ne.jp/news/news/20041221107.html>

英ポイント・トピック社は、世界の9月末ブロードバンド加入者数が、1億3640万人、前年同期比53%増に達したと発表。日本は、加入者

数世界3位だが、普及率はベスト10から脱落、後発国に追抜かれた。

財務省原案内示、空港整備特別会計4,956億円

羽田再拡事業に605億、新石垣空港の事業も採択

平成17年度予算の財務省原案が20日財務省より各省庁に内示され、国交省関係予算内示(国費)は前年度比3%減の6兆5,656億円。航空局関係では、空港整備特別会計における一般会計の特会繰入れは、今年度予算より約13億円(0.8%)多い1,656億6,900万円が提示され、空港使用料2,122億円、雑収入等668億円、借入金(財政投融资)509億円と合わせて、空港整備特別会計の歳入は4,956億円となる。今回予算では、(A)羽田空港再拡張に要求どおり605億円(16年度比21.5%)が配分され、関空2期事業が2007年限定供用に向け事業採択されるなど大都市圏拠点空港整備の着実な推進、(B)ハイジャック・テロ対策など航空保安対策強化(102億円、同29億円増)、(C)航空サービス高度化のための事業の推進(157億円、同9億円増)に投資重点化が図られている。一般空港整備では、新石垣空港整備が新規に事業採択された。内示主要事項:

1. 大都市拠点空港の整備:2,356億200万円(16年度比220億2,300万円増)。

(1)羽田の再拡張＝事業費605億100万円(同5.7倍)。平成17年度には、新設滑走路・連絡誘導路などの設計および工事、環境影響評価、漁業補償、PFI手法を活用した国際線地区の整備(実施方針の策定・公表、特定事業の選定・公表、事業者の募集およびSPCとの契約締結)などを行う。要求どおり配分され、605億円のうち国費は304億円。重点事項であり、次年度以降にさらに事業費が拡大することが確実であるため、国費割合が大きくなっている。(2)羽田沖合展開(東旅客ターミナル南側部エプロンおよび誘導路新設整備)＝事業費417億8,200万円(同17.1%減)、借入金償還759億600万円(同3.0%増)。(3)新東京国際空港(成田)整備(平行滑走路基本施設整備)＝会社事業費836億円(同5億円増)、財政投融资(政

保債)187億円(同27.5%減)、国直轄事業費37億600万円(同19.6%減)。(4)関西国際空港整備＝会社関係国費合計457億円(同35.0%減)。うち、2期事業施設整備に政府出資金200億円(同20倍)、同用地造成事業に政府出資金84億円(同約3.9分の1)、政府無利子貸付金70億円(同3.9分の1)。1期事業に政府出資金3億円(前年度と同額)、財政投融资(政保債)2億円(前年度比3分の1)、償還財源としての財政投融资(政保債)242億円。補給金90億円。会社関係と別に国直轄事業79億6,000万円(同7.4倍)。

2. 一般空港等の整備:435億1,500万円(同5億円減)。

滑走路延長は、10空港の継続事業を着実に推進する。新規事業として、旅客・貨物とも需要増加し、第3種空港で全国1位の実績となっている石垣空港の2,000m化に着手する。また、滑走路、無線施設、航空灯火の維持・更新、管制塔の耐震化など安全性を確保し、空港機能保持の整備を行う。神戸市が17年度末に開港を要望している神戸空港直轄工事や管制官の配置も予算付する予定だが、各空港に対する具体的配分は今年度末決定する17年度実施計画で決定。

3. 航空サービス高度化推進事業:157億4,900万円(同9億800万円増)。

航空輸送サービスの質向上を図り、観光立国実現に資するため、重点戦略拡充・展開、空港を核とした観光交流促進、空港アクセス改善、空港運用高度化など既存空港の機能高度化および空域・航空路の抜本的再編をはじめとする運航効率向上を推進する。重点戦略は、空港経営の戦略的推進(社会実験を含む)、大都市圏拠点空港における空港活性化方策の検討となっている。130億円が一般空港の観光交流促進、アクセス改善、運用高度化、国際線機能高度

化に振向けられるが、具体的内容は17年度実施計画で決定。

4. 空港周辺整備促進(住宅防音工事、移転補償):159億300万円(同7億9,800万円減)。

5. 航空路施設整備:234億2,700万円(同3億9,600万円減)。うち、次世代航空保安システム整備(MTSAT整備、次期管制システムの整備)193億2,300万円(同3億7,000万円減)。現行航空保安システムの整備41億400万円(同2,600万円減)。

6. ハイジャック・テロ対策など航空保安対策の強化:101億7,100万円(同28億9,400万円増)。

4月に発生した羽田空港不法侵入事件を受けた空港の保安対策の強化(杭の設置などの車止め、フェンス材質強化、ゲート強化、センサの配置。主要空港では16年度内に完了することから、地方空港

に拡大)に30億円。その他、貨物X線検査装置・空港関係者等検査装置導入に充てる。具体的な内容は17年度実施計画で決定。

7. 離島の航空輸送確保:航空機購入補助金14億6,900万円(同1億2,700万円減)。うち運航費関係3億9,400万円、機体取得関係10億7,500万円。平成17年度予算内示では、公共事業費削減が継続し、国交省全体で前年比3%減となったが、羽田再拡張、関空2期事業など大都市圏拠点空港整備が国家戦略上の重要事業として投資の重点化が継続され、同220億円増となっている。また、注目の集まる空港保安対策強化も大きく増額された。反面、一般空港整備、空港周辺整備の促進、離島の航空輸送の確保が減少しているが、航空局によると、事業内容精査などにより所要金額は確保できたとしている。

2004年12月22日 4:56 Space Systems FC

欧州のオーロラ計画は資金の大幅増加を得る

EUROPE'S AURORA PROGRAM GETS FUNDING BOOST

PARIS - The countries participating in the Preparatory European Space Exploration Program "Aurora" have recently confirmed and <http://emarketaalerts.forecast1.com/mic/eabstract.cfm?recno=111417>

ガリレオ軌道上の実証の契約がサインされる

GALILEO IN-ORBIT VALIDATION CONTRACT SIGNED

PARIS - The Galileo project is now truly taking shape, with the signing of a second contract concerning the In-Orbit Validation phase, <http://emarketaalerts.forecast1.com/mic/eabstract.cfm?recno=111431>

ロラールは最新のエコスター衛星の製造に選定される

SPACE SYSTEMS/LORAL TAPPED TO BUILD NEWEST ECHOSTAR SATELLITE

PALO ALTO, Calif. - Space Systems/Loral (SS/L) has been selected by EchoStar Communications Corporation, of Englewood, Colo., to <http://emarketaalerts.forecast1.com/mic/eabstract.cfm?recno=111429>

独のロボットシステムがISSに打上げる準備がされた

GERMAN ROBOTIC SYSTEM PREPARED FOR LAUNCH TO INTERNATIONAL SPACE STATION

BREMEN, Germany - With the launch of the German ROKVISS (Robotic Components Verification on ISS) experiment from the <http://emarketaalerts.forecast1.com/mic/eabstract.cfm?recno=111416>

MDA社がハッブル望遠鏡のランデブー問題解決を行うことに

MACDONALD, DETTWILER AND ASSOCIATES TO PROVIDE HUBBLE RENDEZVOUS SOLUTION

RICHMOND, British Columbia - MacDonald, Dettwiler and Associates Ltd. has received \$6.5 million CDN from Lockheed Martin <http://emarketaalerts.forecast1.com/mic/eabstract.cfm?recno=111427>

increased their contributions. This preparatory phase has attracted additional contributions for the ...

following the contract signed in July 2003 for two test satellites. The European Space ...

build EchoStar XI, a new direct broadcast satellite (DBS) based on SS/L's 1300 platform that will ...

Russian spaceport Baikonur to the International Space Station on December 24, 2004, space robotics will enter a ...

Corporation to supply a solution for rendezvous with the Hubble Space Telescope. This agreement is distinct ...

2004.12.20 日刊航空通信

[宇宙] 海外の市場開拓はレーダサット社などと協力して推進

伊藤忠商事、商用地球観測衛星事業を語る(2)

[防衛] BMDに関する了解覚書、17日に署名式を実施

全般枠組み決定/具体的内容は附属書で規定

[防衛] 統合運用強化で既存の組織見直し/効率化図る

「平成17年度以降に係る防衛計画の大綱」全容(4)

[工業] 法人顧客数/契約通信事業者数も順調増加

CBBの現状、機内インターネットサービス確立

2004.12.17 日刊航空通信

[宇宙] ハイパースペクトラル・センサーのポテンシャルを評価

伊藤忠商事、商用地球観測衛星事業を語る(1)

[宇宙] “日本版サリー・サテライト・テクノロジー社を目指せ”

東大など、超小型衛星を使ったビジネスを検討開始

[防衛] 弾道ミサイル/ゲリラ・特殊部隊攻撃への対応強化

「平成17年度以降に係る防衛計画の大綱」全容(3)

2004.12.16 日刊航空通信

[防衛] 今後の防衛力には多機能で弾力的な実効性が必須

「平成17年度以降に係る防衛計画の大綱」全容(2)

2004.12.15 日刊航空通信

[宇宙] 堀江氏、日ロ経済発展へ「新宇宙工業団地計画」発表

ロシア大使館で日露条約締結150周年セミナー開催

[防衛] F-2取得数、130機から98機へ変更を閣議了承

2004.12.14 日刊航空通信

[宇宙] JAXA, SRB-A改良型の地上燃焼試験延期

H-IIA ロケット7号機の打上げ再開に影響なし

[防衛] 空自戦闘機260機/海自哨戒機は9個隊を整備

新防衛大綱、新たな脅威/多様な事態に対処図る

2004.12.13 日刊航空通信

[防衛] 新防衛大綱/中期防、10日安保会議、閣議決定

総額24兆2,400億円、新たな脅威事態に対処

[防衛] “武器の輸出管理には慎重対処の方針堅持”

官房長官談話、BMDシステムは3原則対象外

2004年12月21日 10:00

日刊航空通信CLIP

航空機は3自衛隊合計で29機/2,347億円

17年度防衛関係費内示、BMDは1,198億円

防衛庁は20日、平成17年度防衛関係費内示の概要を発表した。これによると、同年度内示額は4兆8,300億円となり、16年度予算額より464億円の減となった(除くSACO関係経費263億円)。

防衛関係費3分類では、人件・糧食費は2兆1,562億円で対前年

度92億円の0.4%減、歳出化経費は1兆7,362億円で対前年度96億円の0.5%減、一般物件費9,376億円で対前年度277億円の2.9%減となっている。17年度内示主要項目のうち、正面装備は16年度予算額8,010億円よりマイナスの7,140億9,400万円(契約

ベース)となった。

弾道ミサイル防衛(BMD)に係る諸施策の推進として、1,198億4,200万円が内示された。このなかで、正面装備に当たるBMDシステムの整備は1,188億4,200万円で、うち地对空誘導弾ペトリオットの改修等は646億3,400万円で、これにはPAC-3ミサイルの取得が含まれて

いる。また、イーグリス・システム搭載護衛艦の改修等(SM-3ミサイルの取得/発射試験を含む)は306億5,300万円、自動警戒管制
<http://www.aviation-news.co.jp/recommendation/1221.pdf>

=====

【日刊航空通信編集後記】

「三菱重工業」と「宇宙開発利用」を特集した新聞が発行されました。「宇宙開発利用」特集では、中小型衛星への期待としてNEDO、三菱電機、NTスペースのインタビューを掲載、リモセン近況として、伊藤忠商事衛星計画のインタビュー、NTTデータのリモセン普及に向けた5提案などを掲載。また、衛星プライム制についてJAXAイン

システムの改修等(弾道ミサイル対処機能の付加等、戦術データ交換システムの整備を含む)

は235億5,500万円となっている。

一方、正面装備のうち航空機の内示額は、3自衛隊合計で29機、2,347億7,500万円(契約ベース)で、16年度予算額37機、2,075億

9,500万円(同)より金額は増額、機数は大幅減となった。この内訳次のとおり。(※次のpdfファイルをご参照ください)(単位:百万円)

タビユーや、環境観測技術衛星後継プロジェクト概要などを紹介。1部380円。購読希望される方は、送付先明記の上、次のアドレスに送付ください。新聞と振込用紙を送付させていただきます(振込手数料はご負担ください)。info@aviation-news.co.jp

2004年12月20日 0:20 【航空宇宙情報】ジェダイ・メール

NASAのオキープ局長が辞任の意向

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20041213-00000733-reu-int>

三菱重工業を指名停止処分 ミサイル開発の不備など

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20041214-00000213-kyodo-soci>

フライトレコーダー搭載せず 沖国大墜落機

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20041215-00000003-ryu-oki>

<宇宙ビジネス>ステーションでCM撮影など JAXA

http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20041215-00000072-mai-bus_all

ライブドア、今度は日本初の民間有人ロケット計画を披露

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20041216-00000009-tcb-biz>

米NASA衛星、大気汚染観測を開始

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20041216-00000021-reu-int>

米政府、「国家的危機」時にGPSを遮断する計画を検討

<http://hotwired.goo.ne.jp/news/culture/story/20041217202.html>

未知の天体、南極で探索 日米共同の気球実験開始

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20041218-00000048-kyodo-soci>

2004年12月20日 10:00 日刊航空通信CLIP

国交省、羽田再拡張事業で入札前VE実施

2月14日まで提案受付、審査経て3月下旬契約

航空局と関東地方整備局は16日、羽田空港再拡張事業について、「コスト削減検討委員会」方針に従って入札前VE(Value Engineering:製品やサービスの「価値」を、それが果たすべき「機能」とそのためにかける「コスト」との関係で把握し、システム化された手順によってその「価値」向上を図る手法)を実施することを決め、入札

参加者であるジョイントベンチャ(JV)に文書通知したと発表。JVからの入札前VE提案は競争参加資格の確認結果の通知日(来年2月10日までの予定)の翌日から2月14日まで受付け、3月18日に審査結果を通知する予定。その後、3月22日入札、同23日に開札し、3月下旬に契約する予定となっている。羽田再拡張事業について国

交省は、計画内容見直し、設計・施工一括発注方式の採用、第三者委員会である「コスト削減検討委員会」を設置して入札前後を通じたコスト削減のあり方を検討してきた。その過程で、入札手続の透明性を確保し、事業の品質や決められた工期を確保したうえで、コスト縮

減努力を重ねていくことが必要と考え、従来は落札後契約前や契約後に実施していたVEを事業前段階で実施可能とするため、入札前にも実施することを決めた。(後略)

2004年12月20日 18:32 WIRED NEWS (2004/12/20)

ハエや腐ったリンゴを食べて動くロボット

<http://hotwired.goo.ne.jp/news/news/20041220301.html>

自然界に存在する未精製の物質を動力源とする自律型ロボットの開発に、英の大学が取り組んでいる。バクテリアによって食物を糖に分解する「胃」を備えるこのロボットは、死んだハエや腐ったリンゴを食べ

て動く。15分かかってまだ2~4cmしか移動できないため、目下の課題は出力改善という。

[国際関係・一般]

政府、年明け表明へ 中古護衛艦の輸出検討

シンガポール、マレーシアに「三原則」例外で

読売新聞 04年12月22日 朝刊 1面 6段 0923

防衛庁「統合幕僚監部」の予算復活

毎日新聞 04年12月22日 朝刊 5面 1段 1083

日米両政府 在日米軍の再編 戦略目標早期合意めざす

日本経済新聞 04年12月21日 朝刊 2面 1段 1158

05年度予算原案 防衛関係 冷戦型装備を大幅縮減 グリラ対応など増額

日刊工業新聞 04年12月21日 朝刊 5面 3段 0035

05年度予算案財務省原案 ポイント解説

社会保障 教育 防衛 介護 子育て 年金 食の安全 環境

日本経済新聞 04年12月21日 朝刊 9面 4段 写図表 1182

視点=05年度予算原案 歳入 国と地方で774兆円 長期債務増加の一途

日刊工業新聞 04年12月21日 朝刊 3面 6段 写図表 0016

[宇宙・航空・科学]

H2Aロケット7号機 三菱重工の工場で公開 打上げへ準備万全

フジサンケイビジネスアイ 04年12月22日 朝刊 8面 2段 写 1650

H2Aロケット7号機お披露目

朝日新聞 04年12月22日 朝刊 11面 1段 写 0859

三菱重工業 H2A7号機公開

読売新聞 04年12月22日 朝刊 37面 1段 1036

三菱重工業 「H2A」7号機を公開 今度こそ...

産経新聞 04年12月22日 朝刊 1面 2段 写 1385

2月の打上げへH2A7号機公開

宇宙航空研究開発機構 H2A補助ロケット 最終燃焼試験来月12日実施

日本経済新聞 04年12月21日 朝刊 42面 1段 1324

宇宙航空研究開発機構 H2Aの大型補助ロケット 最終燃焼試験、来月に

日経産業新聞(日経テレコン21) 04年12月21日 朝刊 8面 3段 1860

H2A最終燃焼試験 来月12日に実施

朝日新聞 04年12月21日 朝刊 37面 1段 0888

[宇宙利用・宇宙からの観測・宇宙環境利用・宇宙実験]

宇宙航空研究開発機構 民間と事業化推進 宇宙で新ビジネス

フジサンケイビジネスアイ 04年12月21日 朝刊 1面 4段 1557

[防災・環境・資源・エネルギー]

地球のカルテ 温暖化研究最前線(3)＝

海洋深層循環 映画の「大寒波」は過大？

読売新聞 04年12月22日 朝刊 29面 3段 図 1013

新潟県中越地震もう1つの死の恐怖 停電・・・

在宅医療機器どうなる？「所在確認網」構築を

読売新聞 04年12月21日 朝刊 33面 5段 1007

マツダ火災 第一工場年明け部分再開 新型プレマシー 第二で生産開始

中国新聞 04年12月21日 朝刊 1面 4段 1936

[技術・産業]

農水省 今年の10大研究成果 イネゲノム解読1位

日本農業新聞 04年12月22日 朝刊 11面 3段 0786

日立ハイテクノロジーズ 汎用性高い分析・計測機 来上期から中国生産

電子顕微鏡など移管 競争力を確保

日刊工業新聞 04年12月22日 朝刊 9面 4段 0057

東京精密の子会社・リーブル 半導体露光装置で新機械振興賞会長賞を受賞

電波新聞 04年12月22日 朝刊 7面 2段 写 0215

大同特殊鋼 CCFL電極向け ニッケル・ニオブ合金開発

長寿命と低コスト両立

化学工業日報 04年12月22日 朝刊 6面 5段 1746

山形大 環状カーボンナノチューブ 有機化学反応で作製

大きさもほぼ同一 新たな機能材展開へ

化学工業日報 04年12月22日 朝刊 6面 4段 写 1747

11月 民生用電子機器 出荷額18.4%増 デジタル家電堅調

日経産業新聞(日経テレコン21) 04年12月21日 朝刊 7面 3段表 1847

11月 民生用電子機器 12カ月連続で国内出荷増加

電気新聞 04年12月21日 朝刊 4面 1段 0271

11月の民生用電子機器国内出荷 18.4%と2ケタ増

車載用TV26%伸長

電波新聞 04年12月21日 朝刊 13面 4段 図 0238

11月の民生電子機器出荷額 12カ月連続で前年を上回る

フジサンケイビジネスアイ 04年12月21日 朝刊 8面 1段 1605

11月国内 電子機器出荷18%増 デジタル家電堅調

日本経済新聞 04年12月21日 朝刊 13面 2段 1212

民生用電子機器 11月国内実績 出荷総額18%増

毎日新聞 04年12月21日 朝刊 8面 1段 1084

JEITAまとめ 11月の電子機器出荷 18.4%増の2389億円

液晶TVけん引

日刊工業新聞 04年12月21日 朝刊 7面 2段 0058

JEITA2005年見通し 民生用電子機器生産額

12年ぶり3兆円台薄型テレビがけん引

日経産業新聞(日経テレコン21) 04年12月22日 朝刊 3面 3段表 2029

電子情報技術産業協会発表 11月 民生用電子機器国内出荷18%増

化学工業日報 04年12月21日 朝刊 18面 1段 表 1701

情報通信研究機構が新手法 たんぱく質観察加熱せず前処理

日経産業新聞(日経テレコン21) 04年12月21日 朝刊 8面 1段 1864

情報通信研究機構 高真空中で分子ビーム生成 非揮発性分子素子に応用

日刊工業新聞 04年12月21日 朝刊 21面 3段 0119

[\[通信・放送・IT\]](#)

BSデジタル放送推進協会

受信端末アップグレードサービスを拡張 伝送容量を大幅に増加

電波新聞 04年12月22日 朝刊 8面 4段 図 0225

ジュピターショップチャンネル テレビ通販

PC画面に商品情報 番組表も電子化

日経流通新聞MJ(日経テレコン21) 04年12月22日 朝刊 7面 3段 2232

デジタル多チャンネル 通信・放送 大競争時代(5)＝

NTTの「放送」GMPLS/WDMの革新

株式新聞 04年12月22日 朝刊 1面 4段 写 0740

スカパー、CATV参入 福島県郡山市の局を子会社化 ビル陰の顧客開拓

日本経済新聞 04年12月22日 朝刊 12面 3段 1243

1月から事前旅客情報システム導入

産経新聞 04年12月22日 朝刊 26面 1段 1480

TVKテレビ デジタル放送で先行メリット狙う “原点のソフト”磨き商機拡大

フジサンケイビジネスアイ 04年12月21日 朝刊 25面 5段 写 1639

NHK 衛星第二のアニメ番組の第2弾

フジサンケイビジネスアイ 04年12月21日 朝刊 25面 1段 1641

京セラが免許取得 アイバースト実験無線局 2009年

下り容量10メガビット計画

日経産業新聞(日経テレコン21) 04年12月21日 朝刊 5面 3段 1828

ジュピター・プログラミング 番組供給会社を買収 英国専門チャンネル放送

日経産業新聞(日経テレコン21) 04年12月21日 朝刊 6面 2段 1841

福岡・東区美和台地区 波紋広げる携帯基地局建設

住民、既定方針に反発NTTドコモ 「理解を求め」

西日本新聞 04年12月21日 朝刊 28面 4段 写 2002

富士通研究所 第3世代携帯電話 基地局低コスト化 トランジスタ改良

日経産業新聞(日経テレコン21) 04年12月21日 朝刊 8面 4段図 1857

アンリツ 3G用セルマスタ発売 基地局評価へ ハンドヘルド型

電波新聞 04年12月21日 朝刊 7面 3段 写 0204

フュージョン・コミュニケーションズ 広島でIPネット実証 基地局も無線で接続

電気新聞 04年12月21日 朝刊 4面 3段 0264

[経営・人]

世界の動向ワールドレポート＝関西学院大学経済学部教授

野村宗訓 欧州送電連系線の混雑管理

電気新聞 04年12月22日 朝刊 10面 4段 写表 0301

論陣論客＝国産ロケット再開

宇宙航空研究開発機構理事 三戸幸氏 未来工学研究所理事 稗田浩雄氏

いんたびゅー＝ウェルネット社長 柳本孝志さん

ジャスダック上場狙いはコンビニ決済、進化目指す

北海道新聞 04年12月21日 朝刊 13面 3段 写 1823

小糸工業 航空機座席部門、5割増員 2007年度300人、開発も増強

日経産業新聞(日経テレコン21) 04年12月21日 朝刊 10面 4段写 1876

ネットワーク＝ハイテク企業は戦々恐々、訴訟好きなアカシア・リサーチが特許企業を買収

フジサンケイビジネスアイ 04年12月21日 朝刊 16面 2段 1609

[航空輸送・エアライン]

シンポジウム「中部が拓く日本の未来」 可能性秘める新空港 地方都市と世界結ぶ

日本経済新聞 04年12月21日 朝刊 31面 5段 写 1292

低コスト航空会社 キングフィッシャー・エアライン

「A320」30機発注 4機リース導入も

フジサンケイビジネスアイ 04年12月21日 朝刊 5面 1段 1581

双日 検査用航空機を受注

日経産業新聞(日経テレコン21) 04年12月21日 朝刊 17面 1段 1926

2004年12月20日 18:32 WIRED NEWS (2004/12/20)

マック開発メンバーが本を出版、当時の秘話を語る(上)

<http://hotwired.goo.ne.jp/news/news/20041220204.html>

Leander Kahney

1978年、若きアンディ・ハーツフェルド氏(写真)は有り金をはたいて『アップル 2』を購入。ハーツフェルド氏はこのとき不安でたまらなかったが、結果的には、同氏の人生で最高の投資となった。

ハーツフェルド氏はその後、米アップルコンピュータ社に技術者として入社し、マッキントッシュ開発チームの主要メンバーになったのだ。このチームの個性豊かなプログラマーたちが手がけた型破りなプロジェクトは、パーソナル・コンピューティングを定義することにもなった。

そんなハーツフェルド氏は最近、マックの生立ちにまつわるエピソードを『シリコンバレーでの革命:マック開発をめぐるとても素晴らしき物語』(Revolution in the Valley: The Insanely Great Story of How the Mac Was Made)という本にまとめ、米オライリ・メディア社から出版。写真をふんだんに配した豪華本で、中身も非常に読み応えがある。

フルカラー320 ページのこの本には、内部の当事者が語るマック開

発チーム秘話が詰まっている。

正確には、「当事者たち」だ。この本には、マックチームの他メンバーたちが書いたものも含まれている。内容の大部分は、ハーツフェルド氏のウェブサイト『フォークロア』ですでに公開されていたもので、関係者らによるチェックを受けている。ハーツフェルド氏は関係者の意見を一致させるために、少々手の込んだこの方法を考え出した。

そして、フォークロアを見たオライリ社のティム・オライリ社長が、サイトのコンテンツを本にすることを提案した。ハーツフェルド氏は文章を書き上げてから、さらに説明を加えようとアップル社資料室を調べた。この結果、同氏の本には、時代を感じさせる写真やマーケティング資料、手書きスケッチがあちこちに挿入されている。その多くは今回初公開。

マック開発秘話はすでに語り草となっている。しかし、システムソフト設計メンバーだったハーツフェルド氏は、関係者という独自視点から、

愉快で魅力的な語り口で話を進めている。

『シリコンバレーでの革命』には、関係者たちの当時の姿が鮮明に描かれている。最も著名な人物は、アップル社の現最高経営者 (CEO) スティーブ・ジョブズ氏だ。同氏はこの本の中で、夢想家的、人使いの荒さ、怪物的といったさまざまな面を見せている。しかし本書には、それほど知られていない関係者も登場する。たとえばハーツフェルド氏の友人で、マックの回路の大部分に関与したハード技術者、バレル・スミス氏のように。

事実、この本の主題はマックだが、この本の肝はハーツフェルド氏とスミス氏の友情だ。冒頭では2人のアップル社での出会いが語られ、スミス氏のユーモアセンスと技術者としての才能をたたえるエピソードがその後もいくつか出てくる。これはスミス氏の評価を実績相応に高めるための試みで、予想もしなかった感動的な展開だ。

ワイアード・ニュースはハーツフェルド氏にインタビューを行ない、この本についての質問をぶつけ、ジョブズ氏をはじめとする関係者の反応を尋ねた。

ワイアード・ニュース(以下 WN): 20年前に起こったことを本にするのに、なぜこれほど時間がかかったのですか？

アンディー・ハーツフェルド: 私はずっとこの話を書きたいと思っていた。しかし、これは現在も感じていることだが、信頼を裏切ってはならないという問題がある。ご存知のとおり、他人と一緒に何かを経験しているとき、相手はこちらがそのことを本に書くとは思っていない。そのため、話の種にしてもよいと思えるまでには、十分な時間が必要だった。これが1つの理由だ。マックが20周年を迎えたことも、私を動かす1つのきっかけになった。

WN: あなたは本の中で、利己的な本にはしたくない、一人称視点で書くのが照れくさかったと述べていますが？

ハーツフェルド: そのとおり。もしアップル社の関係者がこれまでに出した本の特徴を述べるとしたら、そのようなことが最初に思い浮かぶ。

WN: 企業幹部が経歴をひけらかす本のような？

ハーツフェルド: (ジョン・スカリー氏やギル・アメリオ氏の本のようなもの)だ。彼らの本は非常に利己的だ。

WN: ジョブズ氏はあなたの本についてどんなことを言いましたか？

ハーツフェルド: 何週間か前に、この本を彼に見せるチャンスがあった。本が完成した直後だった。彼はとても喜んで、懐かしがっていた。2人で最後までページをめくったが、彼は覚えていない人の名前や近況を尋ねてきた。この本に対してかなりよい印象を持ったようなので……私は軽く警告しておいた。『あなたの気に入らない話がちらほら出てくるかも』と。彼は「ああ、そうか」と言っていたが、そのことは予想していたと思う。

WN: この本に書かれている話の他に、ジョブズ氏のエピソードはありますか？

ハーツフェルド: あるね。ジョブズ氏に限らず、本に書かなかったエピソードはいくらでもある。書くべきかどうか、自分の動機をよく見つめ直さなくてはならず、本を書く決心するまでに時間がかかった理由の1つは——ある意味で——自分は信頼を裏切っているような気がしたということ。当然だけれど、友人のことを文章に書く行為はちょっとした危険を伴う。自分のことが文章になるとわかっていたら、普段どおりには振る舞ってくれなかったはずだ。そのため、十分な時間が必要だったし、私自身も慎重になる必要があった。相手に不快な思いをさせたり、誤解を招いたり、軽蔑した形になったりするのはいやなので、適切な判断を下さなければならぬ。たとえば、スティーブ(・ジョブズ氏)が米IBM社ロゴに中指を立てている写真だ。私はこの写真を本に載せるべきだったのだろうか？担当編集者は載せるべきだと考えた。私は、それはたぶん、よい考えじゃないと判断した。(12/21に続く)

[日本語版: 米井香織 / 高森郁哉]

2004年12月21日 18:10 WIRED NEWS (2004/12/21)

マック開発メンバーが本を出版、当時の秘話を語る(下)

<http://hotwired.goo.ne.jp/news/news/20041221206.html>

Leander Kahney

WN: ジョブズ氏のような人物の場合、そういうことも書いたほうが公平な人物像になると思います。ジョブズ氏には長所も短所もありますから。

ハーツフェルド: 私は、自分自身も含め、すべての人物を公平に描くことを心がけた。自己批判に努めた部分もある。

WN: この本の中には、あなたとスミス氏の友情にまつわるエピソード

(12/20 から続く)

がいくつも登場しますね。

ハーツフェルド: それこそがこの本の核心だ。マックの主貢献者の中でも、バレル(・スミス氏)はおそらく最も世に知られていない人物だ。バレルの偉大さを世界に伝えることもこの本の目的だった。

WN: 現在スミス氏は何をしていますのですか？

ハーツフェルド: バレルはすでに引退している。米ラディウス社という

企業を立上げ、富を築いた——この会社は私も手伝っていた。現在は、興味の赴くままさまざまなことをやっている。今でもパロアルトに住んでいるが、人前には出てこない。実のところ、この本を気に入らないのではないかと少し心配している。

WN: スミス氏はこの本を読んだのですか？

ハーツフェルド: 家の戸口に 1 冊置いてきた。直接手渡すつもりだったが、あいにく留守だった。

WN: では、付き合いはもうないのですか？

ハーツフェルド: ほとんど会うことはない。ばったり会うこともたまにはあるが、もう友人どうしという間柄ではない。しかし、かつては長く友人だった。バレルとの間には、公の場でも個人的にも気楽に話せないような出来事があったのだ。

WN: スティーブ・ウォズニアック氏はこの本にどのような反応を示しましたか？

ハーツフェルド: とても気に入ってくれた。私のために素晴らしい序文を書いてくれたし、つねに熱心で協力的だった。

WN: その他の関係者の反応は？

ハーツフェルド: マック開発チームの当初メンバで、私が本を渡したのは 9 人だと思う。反応はおおむね非常に良好だったが、唯一ジェフ・ラスキン氏だけは、はっきり否定的な反応を示した。ジェフの当時の記憶は残りのメンバとまったく異なっており、私の本も彼の記憶とは違うことを書いている。ジェフの記憶では、彼がすべてを設計したことになっているが、それは事実ではない。私の本はその点で食い違っている。これは想像だが、ジェフは私の本が存在しなければいいと思

っているだろう。

WN: あなたは語り手として非常に素晴らしく、この本ではさまざまな話が語られていて、当事者の口からじかに話を聞いているような、生々しい感覚があります。

ハーツフェルド: 自分だけで書けなかったことが大きい。マック開発チームで働いていたすべての人が執筆に関われるようにした。本の中では私以外に、4 人が逸話を披露している。私のサイトには、さらに多くの話が掲載されている。そうした逸話だけでなく、コメントも助けになった。ご存知のように、どのコメントを本に載せるかは担当編集者が決めたことだ。しかし、これらのコメントは内容修正にも役立っている。違う視点を持つコメントもいくつかあったからだ。

WN: 執筆とプログラミングにはどのような違いがありますか？

ハーツフェルド: 重要な違いは厳密さだと言っておこう。本を書いているときは、少々雑なことをしても大丈夫だし、本がクラッシュする心配もない。執筆というのは、それほど客観的な行為ではない。ただし、両者のありようは似ている。執筆もプログラミングも、どこまでも洗練していくことが可能だ。文章もコードも、手を入れれば入れるほど完成度が高まる。そしてもちろん、文字を打込むことだけを考えながらキーボードの前に座っているのが自分 1 人だという点も、両者に共通している。

アップル社やマック・コミュニティーについてもっと知りたい方は、ワイアードの『カルト・オブ・マック・ブログ』をご覧ください。[日本語版: 米井香織 / 高森郁哉]